

令和6年度亜熱帯緑化事例発表会 審査講評

『花いっぱい+笑顔いっぱい=観光資源』

ボランティアの手によって年間20万本の花の苗を生産、市内各地の花壇や公共施設、季節ごとのイベントに提供するほか、名護市の花として制定されているテッポウユリの普及事業や全日本花いっぱい大会の開催の企画など、多岐にわたる活動を活発に続けている点が評価されました。

(令和6年度亜熱帯緑化事例発表会審査委員長)